

新幹線プレス

2021年2月22日 No.503

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

(みくだりはん)

ユニオンに三行半(離縁状)!

もっとどんどん勇気を持って意志表示すべきだ!そのことによってユニオン・会社は、社員の声を無視できなくなる!

過日、JR東海ユニオン新幹線地本内の組合員がユニオンに愛想をつかし、脱退届けを提出しましたが、ユニオンの幹部は受け取りを拒否したそうです。

聞くとところによると「ユニオンの職場集会で発言した内容が管理者に報告され、その管理者から嫌みを言われ、高い組合費を払うのが馬鹿馬鹿しくなった」とのことです。

ユニオン幹部が脱退届を受け取り拒否?

尋常じゃありません。いつからJR東海会社は、ユニオンシヨップ制になったのでしょうか。どの組合に所属しようが自由なはずです。

内容証明付きで郵送してはどうでしょうか!

ユニオン幹部は何をやってきたのか!

☆年末手当の『安定的な支給ベース』をかなぐり捨てた2.2ヶ月妥結。

☆一時帰休提案に対して、会社は、業務量の減少と雇用調整助成金をもらうためとしか言っていないにもかかわらず「一時帰休は、雇用調整の一手手前、潜在的な雇用不安が伴います、将来の人員整理に繋がらないように全力で雇用を守ります」と雇用危機をあおる言動。

☆ベア1000円要求と夏季手当『安定的な支給ベース』2.7ヶ月を下回る2.5ヶ月要求。

会社の尻押しユニオン幹部では労働条件を守ることができない!

会社は、1月29日令和2年度第3四半期の決算を公表しました。連結で営業収益は6030億円で1114億円の赤字を計上しています。しかし、コロナ禍で輸送減もありますが原因は、リニア設備投資3800億円です。

現場で汗をかいている労働者への責任ではなく、むしろ会社経営陣の間違った施策が生み出している赤字です。

組合が主張すべきは、リニアの設備投資の見直し、中止ではないでしょうか。

ユニオンでは労働条件は守れません! JR東海労と共に声を挙げましょう!